

UcamX 2017.04 リリースノート

2017年4月

UcamX

バージョン 2017.04



UcamX v2017.04リリースノート

定期アップデートへの取り組み



バージョン	リリース日	ハイライト
2014年12月	12月14日	ワークスペースGUI、並列処理
2015年4月	4月15日	ロードバランスセッション、Gerber X2インプットサポート
2016年1月	1月16日	バックグラウンドアウトプット、並列画像比較
2016年6月	6月16日	メンテナンスアップデート
2016.12	12月16日	新規 insert Arc コマンド、Sieb&Meyer rout インポートを改善
2017年4月	4月17日	パフォーマンスの向上、DRC 同じネットスペーシング、「ペイント済みを選択」機能を改善

UcamX v2017.04リリースノート

全般



Ucamcoは、UcamX v2017.04の
リリースを発表いたします。

本リリースでは、重要な拡張と強化が既存機能に追加され、当社のUcamX
ユーザーベースから報告を受けたソフトウェアの不具合に対応しています。

リリースノートで、本バージョンのハイライトをご紹介します。

本リリースノートを注意深くお読みください。

速やかに v2017.04に更新することをお勧めします。Ucamco製品をお買い上
げいただきありがとうございます。

UcamX v2017.04リリースノート

概要



- 「ペイント済みを選択」機能により、ペイント済み領域の検知が格段に向上
- ソルダーマスクチェッカー
- サードパーティファイルの入力進捗を示すプログレスバー
- カスタマイズ可能なGerber 274xヘッダーに、新オプション、274x*pre_healが追加
- 同じネットスペーシングを検知するアルゴリズムが改善
- ODB++ジョブにおいて顧客が希望する解凍ツールを指定する新オプション
- その他多数…

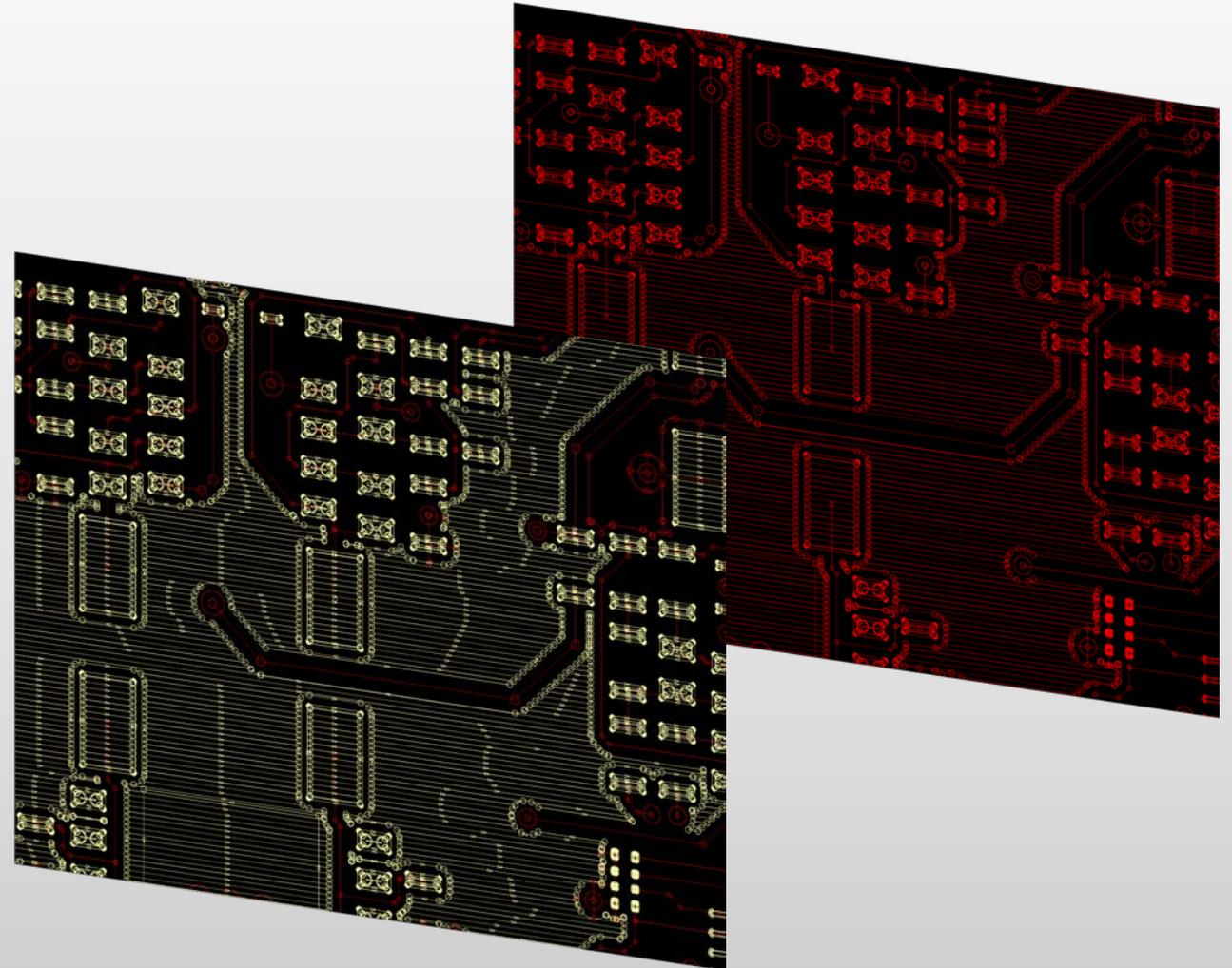
UcamX v2017.04リリースノート

「ペイント済みを選択」機能



当社は、UcamX でペイント済み領域を選択する新しいアルゴリズムを開発しました。

その結果、手動での確認や修正を要するペイント済み領域が低減しました。
その分、ユーザーは標準外作業に集中できる時間が増加します。

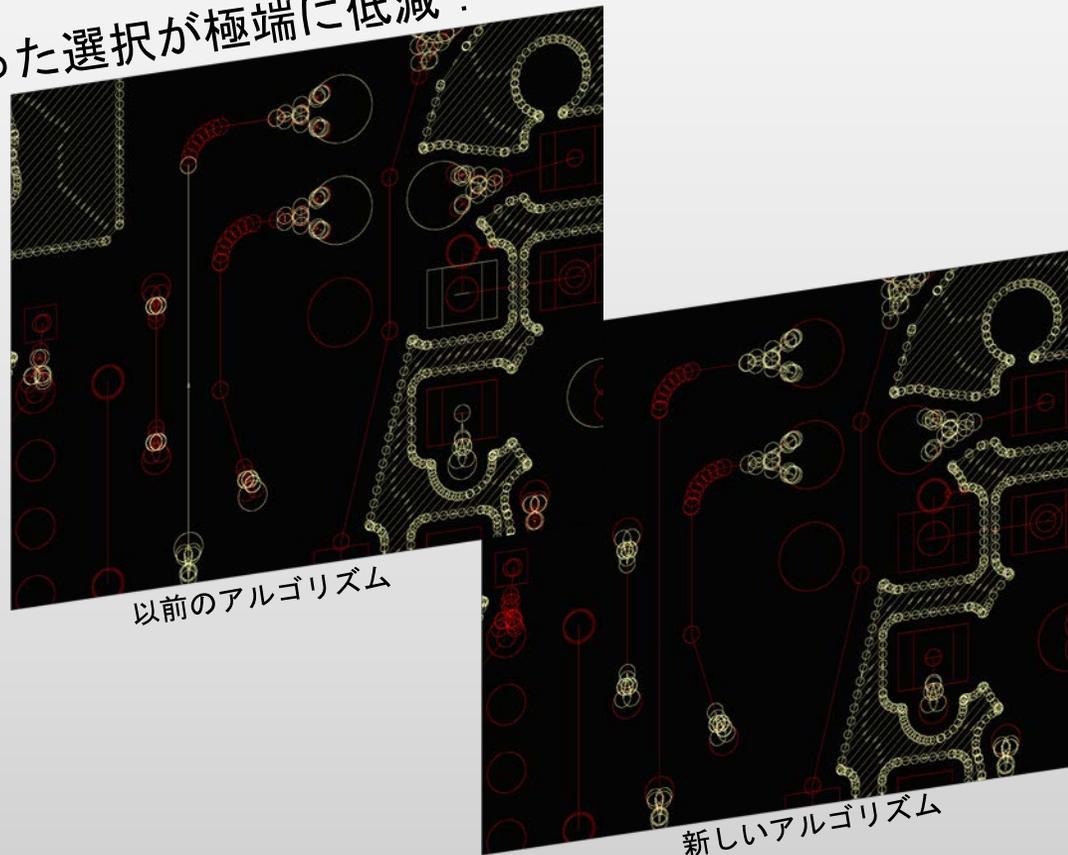


UcamX v2017.04リリースノート

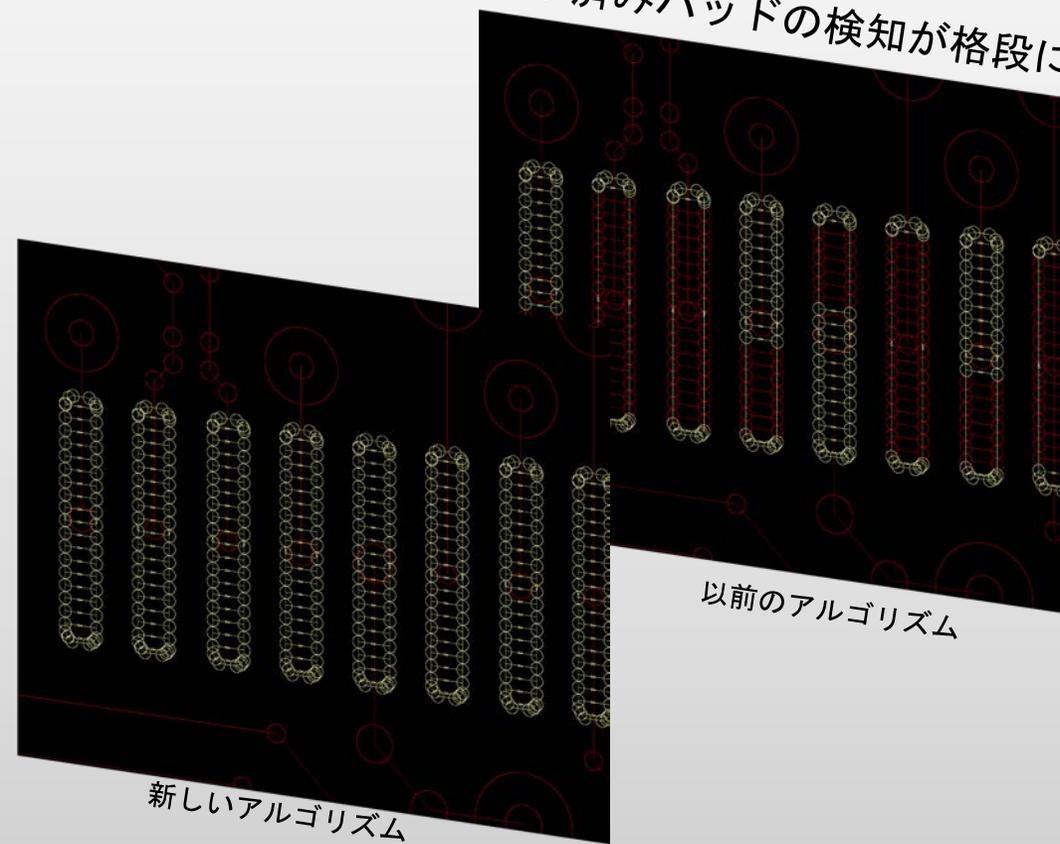
「ペイント済みを選択」機能



誤った選択が極端に低減：



ペイント済みパッドの検知が格段に向上：



UcamX v2017.04リリースノート

ソルダーマスクチェッカー



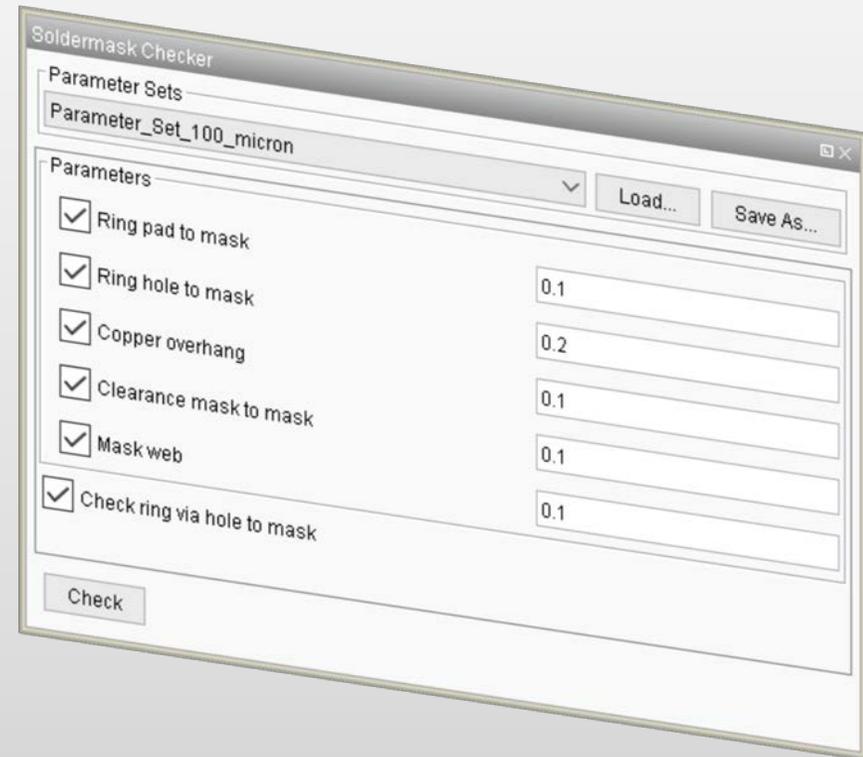
新ソルダーマスクチェッカーにより、DRCチェックのみの場合と比べ、ユーザーはレイアウトの潜在的なソルダーマスク問題をより多く判断できます。

その判断結果をソルダーマスクの修理や修正に活用したり、スクリプトなどに簡単に利用できたりします。

異なるパラメータセットを定義することで、さまざまなテクノロジーレベルを迅速かつ簡単に確認できます。

本機能はライセンスが必要ですが、当社のお客様は無料で利用でき、さらにメンテナンス契約も付いています。

ライセンス延長には、license@Ucamco.com までご連絡ください。



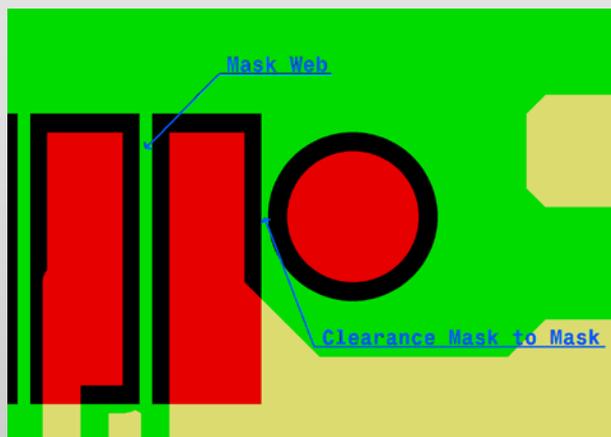
UcamX v2017.04リリースノート

ソルダーマスクチェッカー



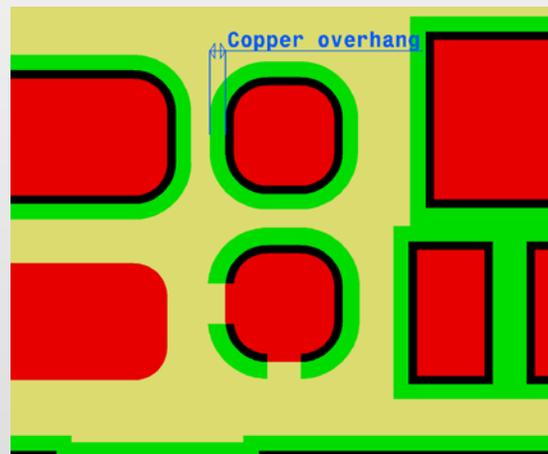
新旧結果の例：

Clearance Mask to Maskのみとは
違い、Mask Web (SMD間の距離)
とClearance Mask to Maskでは結
果が異なる。

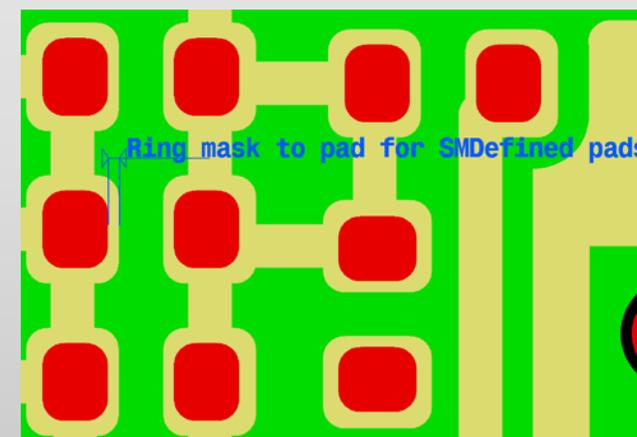


銅オーバーハング

銅領域におけるソルダーマスクのオー
バーラップ。

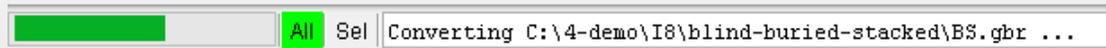


Ring mask to pad for SMD defined pads
ソルダーマスクを定義したパッドの銅上
でソルダーマスクがオーバーラップ。



UcamX v2017.04リリースノート

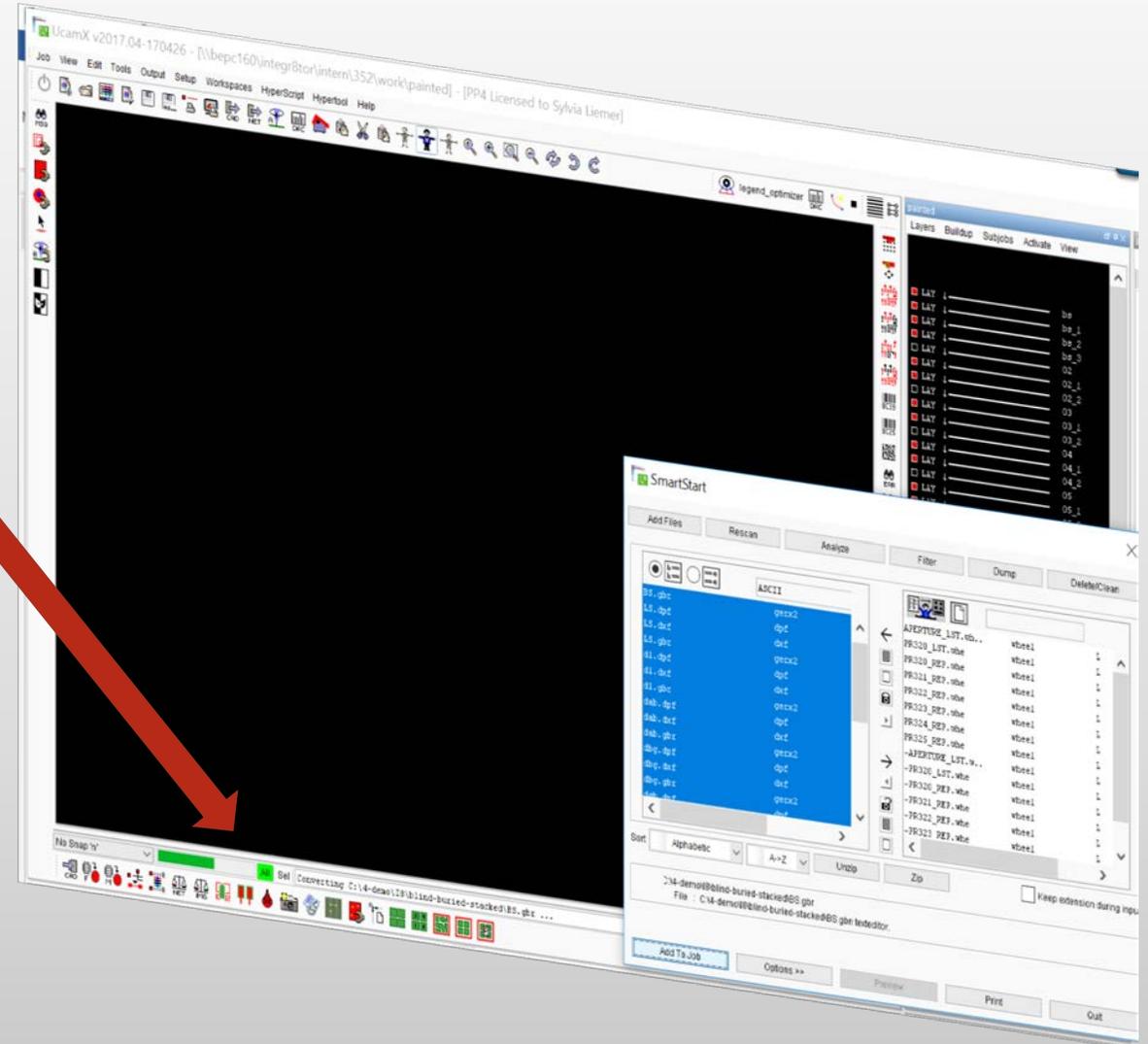
サードパーティファイルの入力進捗を示すプログレスバー



プログレスバーが、dpf ファイルだけでなく、サードパーティファイルの入力進捗も表示できるようになりました。

見慣れた外観はそのままです。

異なるデータ形式を同時に入力した場合、プログレスバーはレイヤごとの入力状況を表示します。



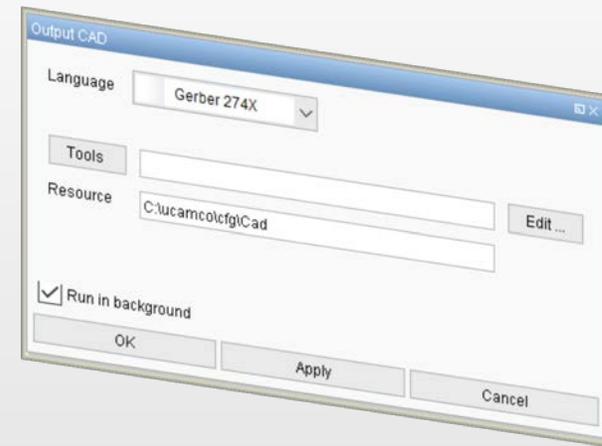
UcamX v2017.04リリースノート

カスタマイズ可能な Gerber 274x ヘッダー

この新機能により、Gerber 274x 出力ファイルのヘッダーを、追加スクリプトなしで各自の要件に合うように作成できるようになりました。

Cadリソースファイルの新オプション 274x*pre_healにより、Output CAD を使用しながら、追加コマンドや行をGerber 274Xファイルのヘッダーに追加できます。

- この新オプションの値は、ファイルの「標準」ヘッダーの前に追加されます
(ファイル生成に使用したUcamXバージョンを示すコメント行の直後)。
- 274x*pre_heal: <NOT DEFINED> (デフォルト) の場合、Gerber RS-274Xアウプットは、生成したGerberファイルに通常のヘッダーを追加します。
- 274x*pre_heal: <value> の場合、<value>のストリングは、生成した Gerber RS-274Xファイルの「標準」ヘッダーのコマンド直前に追加されます。



Output CADリソースファイルからの抽出:
例: RS274x アウプット

```
#
# RS-274X
# *****
#
274x*expand_nested: bottom
274x*innCON: 1
274x*units: inch
274x*format: 2.6
274x*Dcode: free
274x*MaxDcodeNum: 999
#274x*pre_heal:
#274x*sort: seq
#274x*zeroes: leading
#274x*code: ASCII
```

UcamX v2017.04リリースノート

カスタマイズ可能な Gerber 274x ヘッダー



たとえば、コマンド **%VALUE%** が Gerber 274x ファイルのヘッダーに必要な場合：

- Output CAD リソースファイルを新オプションで拡張し、プレヘッダーを指定：

274x*pre_he: **%VALUE%**

```
G04 Generated by UcamX v2017.03_Devbuild-  
170307 on 2017.3.7*  
%FSLAX26Y26*%  
%MOIN*%  
%ADD10C, 0.039370*%  
%ADD11C, 0.043307*%  
%SRX1Y1I0.000000J0.000000*%  
G04 layer name: tmp1*  
%LPD*%  
D10*X0Y0D03*  
%LPC*%  
D11*X19685Y0D03*  
%LPD*%  
M02*
```

が右のように
変更：

```
G04 Generated by UcamX v2017.03_Devbuild-  
170307 on 2017.3.7*  
%VALUE%  
%FSLAX26Y26*%  
%MOIN*%  
%ADD10C, 0.039370*%  
%ADD11C, 0.043307*%  
%SRX1Y1I0.000000J0.000000*%  
G04 layer name: tmp1*  
%LPD*%  
D10*X0Y0D03*  
%LPC*%  
D11*X19685Y0D03*  
%LPD*%  
M02*
```

UcamX v2017.04リリースノート

同じネットスペーシング

DRCチェックでエラーをより迅速にかつ簡単に検知する、同じネットスペーシングの新しいアルゴリズムを開発しました。

メリット：

分析速度向上により時間節約と精度向上を実現し、誤エラーを大幅に削減できます。



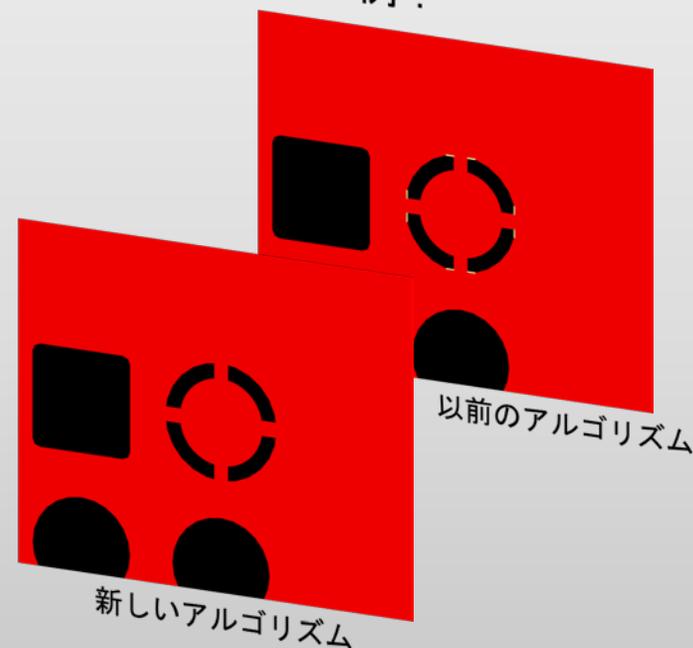
コイルの確認も問題なし

誤エラーが削減：

Smart Design Rule Check		Value	Tolerance	Min. found	Unaccepted	Accepted	Repaired
outer	SAME NET SPACING	0.15	0	0.001	100	0	0

以前のアルゴリズム

例：



以前のアルゴリズム

新しいアルゴリズム

UcamX v2017.04リリースノート

ODB++ジョブにおいて顧客が希望する解凍ツールを指定する新オプション

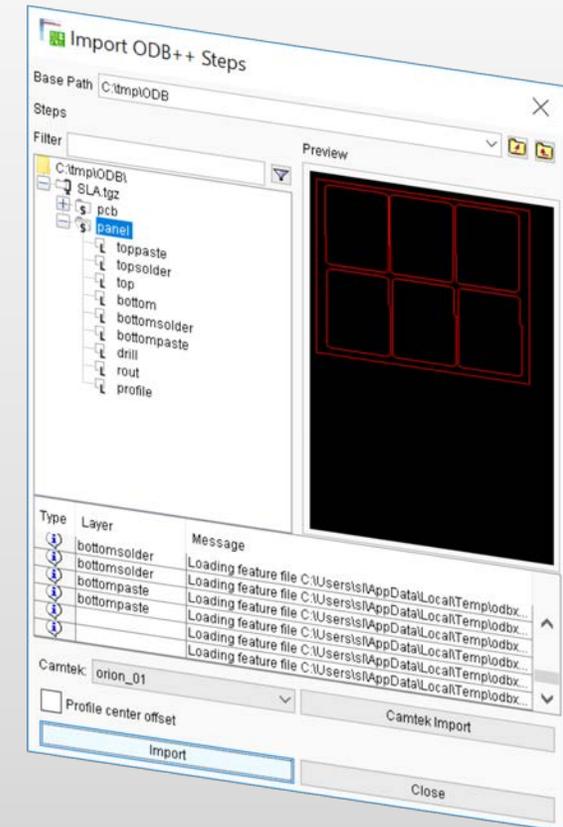


以前は圧縮されたODB++ジョブ (.TGZ) をインポートすると不具合が発生し、オペレータに対する明確なメッセージが出ませんでした。

現在は、ジョブをインポートしている間、シンボル定義が欠落している場合、UNDEFINED アパーチャのようなエラーメッセージを防ぐことができるように、ユーザーが希望する解凍ツールを指定できるようになりました。

解凍ツールの定義は、`ucam.db key external.decompress.gnutar` を導入して行います。

- `external.decompress.gnutar`: 定義なし (デフォルト)
内部に組み込まれたツールを使用して、データを圧縮します。
- `external.decompress.gnutar`: <外部変換ツール>
設定済みの変換ツールを使用してデータを解凍します。



UcamX v2017.04リリースノート

その他多数…



UcamX v2017.04 では、ユーザーから報告を受けたバグを多数修正しています。

UcamX の旧バージョンや Ucam を利用してる場合には、新しいバージョンのリリースノートやバグ修正を参照してください。

- [UcamX v2014-12](#)
- [UcamX v2015.04](#)
- [UcamX v2016.01](#)
- [UcamX v2016.06](#)
- [UcamX v2016.12](#)

リリースノートやバグ修正はすべてUcamco webサイトの[ダウンロード](#) ページに記載されています。

© Copyright Ucamco NV, Gent, Belgium

All rights reserved. 本資料、本資料に記載された情報および使用説明書はUcamcoの財産です。本資料、本資料に記載された情報および使用説明書は現状のまま提供されており、一切の保証を伴いません。本資料によって付与または延長される保証は存在しません。さらに、Ucamcoは本ソフトウェアまたは本資料に記載された情報の使用またはその使用の結果に関して、一切の保証または表明を行いません。Ucamcoは本ソフトウェアまたは本資料に記載された情報の使用または使用不能から生じる直接的、間接的、派生的または偶発的な損害について一切の責任を負わないものとします。

本資料に記載された情報は予告なしに変更されることがあります。上記の変更または追加について通知するために、随時改訂版が発行されることがあります。

Ucamcoの書面による事前の許可なしに、本資料のいかなる部分も印刷、写真印刷、マイクロフィルム、またはその他の手段によって、いかなる形式またはいかなる方法でも、電子的、機械的に複製、データベースまたは検索システムに保存、または公開することはできません。

本資料は過去のすべてのバージョンに優先します。

記載されたすべての製品名は各社の商標または登録商標です。